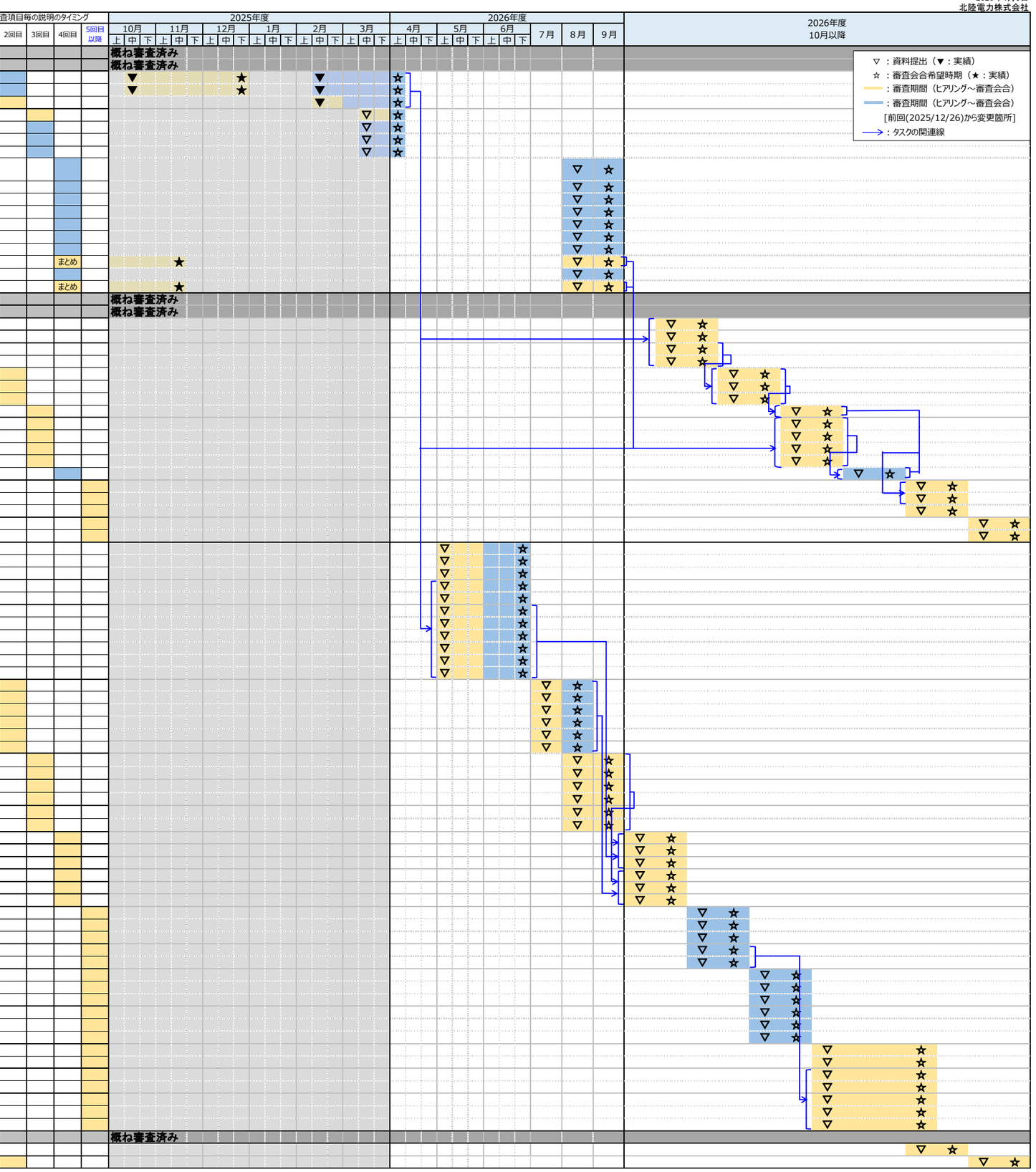
志賀2号　地震・津波に係る審査における今後の説明の進め方

資料1－5

2026年4月3日
北陸電力株式会社

○事業者が考える地震・津波に係る審査における今後の説明の進め方を以下に示す。

審査項目			No.	説明事項 （朱書きのものが論点）	審査項目毎の説明のタイミング 1回目	2回目	3回目	4回目	5回目以降
地質	敷地の地質・地質構造								
		敷地近傍							
		敷地周辺海域	1	断層の連動評価の検討方法	済み				
			2	石川県西方沖の地震の評価と能登半島北部沿岸域断層帯等との連動評価	済み				
			3	能登半島北部沿岸域断層帯等の傾斜角					
		敷地周辺陸域	4	最新知見の収集・分析					
			5	敷地近傍の国土地理院・福浦断層⑤の調査計画					
			6	敷地近傍の国土地理院・推定活断層の調査計画⑪⑫⑬⑭					
			7	敷地周辺の国土地理院・活断層の調査計画②④					
			8	【30km内】断層の評価方針の策定（スクリーニング）（敷地周辺の国土地理院・活断層/推定活断層を含む）					
			9	【30km内】検討対象断層の抽出（グルーピング）・選別					
			10	【30km内】地震動評価に考慮する断層の選定					
			11	敷地内の国土地理院・推定活断層⑭に対する評価					
			12	敷地近傍の国土地理院・推定活断層の調査・評価結果					
			13	敷地周辺の国土地理院・活断層の調査・評価結果					
			14	【30km内】変動地形学的調査の適切性の確認					
			15	個別断層の活動性評価	済み			まとめ	
			16	富来川断層と富来川南岸断層の連動評価					
			17	断層の連動評価	済み			まとめ	
	地下構造								
	震源を特定せず策定する地震動								
	震源を特定して策定する地震動	地震発生層	18	2025/4/11会合以降の最新知見の収集，分析と反映					
		検討用地震の選定	19	検討用地震の選定結果					
		福浦断層の地震動評価	20	評価方針の策定					
			21	「震源が敷地に極めて近い場合」の地震動評価に関する最新知見の収集・分析					
			22	「震源が敷地に極めて近い場合」への該当性の整理					
			23	基本震源モデルの設定と観測記録の再現性の確認					
			24	震源モデル，震源パラメータ，考慮する不確かさ，不確かさの重畳の設定					
			25	地震動評価結果					
		能登半島北部沿岸域断層帯等の地震動評価	26	評価方針の策定					
			27	令和6年能登半島地震の最新知見の収集・分析					
			28	スケーリング則の適用性の確認					
			29	震源モデル，震源パラメータ，考慮する不確かさの設定					
			30	地震動評価結果					
		基準地震動Ssの策定	31	応答スペクトルに基づく手法による基準地震動Ssの策定					
			32	断層モデルを用いた手法による基準地震動Ssの選定					
			33	震源を特定せず策定する地震動の基準地震動Ssの選定					
		基準地震動Ssの年超過確率の参照	34	ロジックツリーの設定					
			35	年超過確率の水準					
津波		既往津波と数値モデル	36	数値モデルの設定					
			37	朔望平均潮位の設定					
			38	水位参照点の設定					
		地震による津波 海域活断層 個別断層	39	検討対象断層の選定					
			40	考慮する不確かさの設定					
		地震による津波 海域活断層 能登半島北部沿岸域断層帯等の津波評価	41	評価方針の策定					
			42	令和6年能登半島地震の最新知見の収集・分析					
			43	スケーリング則の適用性の確認					
			44	波源モデル，波源パラメータ，考慮する不確かさの設定					
			45	津波評価結果					
			46	行政機関による津波評価との比較					
		地震による津波 日本海東縁部 日本海東縁部の地震発生領域の連動を考慮した津波評価	47	想定波源域の設定					
			48	波源モデル，波源パラメータの設定					
			49	パラメータスタディの検討方法					
			50	考慮する不確かさの設定					
			51	津波評価結果					
			52	行政機関による津波評価との比較					
		津波の組合せ 地震以外による津波（海底地すべり・地すべり・火山） 検討対象の抽出	53	令和6年能登半島地震の最新知見の収集・分析					
			54	検討対象の抽出					
		検討対象波源の設定	55	複数地すべりの同時活動の考慮					
			56	波源の設定（復元）方法					
		津波高の算定	57	解析手法，解析パラメータの設定					
			58	津波評価結果					
		津波の組合せ 海域断層 検討対象の抽出	59	組合せ対象選定の考え方					
		海域断層 線形重ね合わせ	60	等価震源距離，地震動継続時間の設定					
		海域断層 同一波動場での組合せ	61	発生時間差の不確かさの考慮					
		津波の組合せ 日本海東縁部 検討対象の抽出	62	組合せ対象選定の考え方					
		日本海東縁部 線形重ね合わせ	63	等価震源距離，地震動継続時間の設定					
		日本海東縁部 同一波動場での組合せ	64	発生時間差の不確かさの考慮					
		基準津波の策定 基準津波 海域構造物の有無の影響	65	影響を考慮した基準津波選定の考え方					
			66	検討条件の設定					
			67	津波評価結果					
		基準津波 基準津波の策定	68	基準津波策定位置の設定					
			69	基準津波の策定					
		敷地周辺の地質学的証拠等との対比 地質学的証拠との対比	70	対象とする津波堆積物の調査範囲，手法					
			71	津波堆積物の調査結果					
			72	比較結果					
		歴史記録との対比	73	対象とする歴史記録の調査範囲					
			74	歴史記録の調査結果					
			75	比較結果					
		基準津波の年超過確率の参照	76	ロジックツリーの設定					
			77	年超過確率の水準					
		基準津波に対する安全性の確認 取水ピット等からの溢水の有無・取水性の確保	78	解析モデルの設定					
			79	溢水の有無・取水性の確保					
		砂移動現象	80	浮遊砂濃度の設定					
			81	取水設備付近の堆積厚さに対する裕度の確保					
			82	取水ピット内の堆積厚さに対する裕度の確保					
火山									
地盤・斜面の安定性		評価方針	83	代表施設・評価対象斜面の選定等の方針					
		評価結果	84	地盤・斜面の安定性評価結果